

# 7月の「つどい」ご案内

【とき】2024年7月19日(金)13:30~15:30

【ところ】厚別区民センター2階 和室C 札幌市厚別区厚別中央1条5丁目3-14

JR新札幌駅下車・地下鉄東西線新さっぽろ駅下車(4番出口)徒歩4分

【問い合わせ】家族の会事務局 ☎281-2969(火・水)

※ 出欠の予定をお知らせいただくと助かります。よろしくお願いします。

📅8月の「つどい」は西区で8月20日(火)に開催予定です。

ちょこっと学習会テーマは  
「日常生活自立支援事業」の予定



6月の「つどい」は6月20日(木)中央区民センターで10名の参加をいただき開催しました。「ちょこっと学習会」は、「長谷川和夫先生」のNHK放送映像のDVD鑑賞する予定でしたが、事情により中止しました。認知症の人本人の気持ちを知るため、※オレンジコーディネーターが本人会員にインタビューする時間を設け、その後の語り合いでの、皆さんの発言概要は、以下のとおりです。※オレンジコーディネーターとは、認知症の人・家族の方々に認知症の初期段階から、心理面や生活面での支援を行うための「つなぎ役」です。

## インタビュー

### 📍第1包括 オレンジコーディネーターから

今年度、市で5区がモデルケースとしてチームオレンジ事業が始まっています。認知症サポーター養成研修受講者がコーディネーターとなり、つなぎ役として調整を行うことになっています。本日、認知症を経験された方が参加されているので、お話をいろいろ聞いてみたいと思いました。

### 📍📍認知症当事者会員から

硬膜下血腫による認知症を経験しました。この「つどい」に参加し、認知症の実態を勉強・理解することで、老人クラブ会長として活動に活かしたいと思っています。認知症になって、開き直った気持ちで肩の荷がおり、生き方として、ほっとする思いです。入院中、若い看護師さんがすごく親切で優しい、でも裏を返すと信用されていない、本人の気持ちを理解するのは難しいことだろうと思いました。

### 📍📍同上 コーディネーターから

DVD鑑賞予定だった長谷川先生も認知症になって、やっと専門家になれたとのお話でした。やはり、本当に経験されたご本人しかわからないことがあると思います。私も祖母の認知症介護を経験していて、福祉職として勉強していましたが家族には通用しませんでした。ご本人の気持ちも尊重しながら家族も支援していかなければいけないと感じました。介護中祖母は母とよく喧嘩していましたが、どう思われますか。また、今後の老人クラブ会長として課題はありますか。

### 📍📍同上 会員から

クラブの課題は後継者作り、後進の育成でしょうか。喧嘩はしない方がいいです。私はかみさんと喧嘩をしそうになったら、彼女を褒める、優しいふりをする。“役者”になることも必要ではないでしょうか。

## 語り合い

### 📍義母の介護中 女性会員

今、義母は療養型の病院にいますが、施設がいろいろあるようで少し勉強したいと思っています。また、最近介護士さんに外国籍の方が居られますが、その辺

の事情はどうなのでしょう。

### 📍施設管理者より

よく知られている特別養護老人ホーム(特養)と似ている養護老人ホームというのがあります。ここは、行政の措置制度の判定会議で、社会的或いは経済的要因のため入居する施設です。少数です。

外国籍の技能実習生は、当施設でも20代前半の女性4名を採用しており、とても優秀です。利用者さんからは、「ひ孫世代の良くしてくれる若い人」とすごく可愛がられています。課題は細かいニュアンスなど言葉の問題や長期的な育成です。

### 📍会員より

介護施設の中で一番新しいのは、小規模多機能型居宅介護です。デイサービス、訪問介護、ショートステイを組み合わせた在宅サービスになっており、365日24時間利用可能で、利用が増えてきています。

外国の技能実習生については、別の業種での経験から言いたいことがあります。皆さん日本に来て家族に仕送りしようと一生懸命です。ただ管理指導する側に問題がある場合があります。介護業界も人材不足であり、この制度は進めていく必要があります。やはり彼らを大事に扱っていただきたいと思います。

### 📍会員より

昨日の電話相談で、娘さんから母が突然訪問介護ヘルパーさんは嫌だと言い出して困っているとの相談がありました。ヘルパーと本人の介護の中での行き違いがあったことが原因で、信頼関係を回復するにはどうしたらよいですかとのことでした。これに対する助言について、皆さんのご意見をお聞きしたいと思います。

### 📍施設管理者より

施設内での場合、その方と少し距離をとり関係性を取り戻していきます。また関係者でミーティングを行い、課題を皆で話し合うのも有効と思います。

### 📍包括コーディネーターから

在宅の場合、やはり相性あるので、どうしても難しい場合は担当者など変更することもあります。介護保険でできないことは、代替案を提示するなどの配慮が必要だと思います。

